

■北大が惜敗。パインボウル、15年ぶり勝利ならず

全日本大学アメリカンフットボール選手権（甲子園ボウル）の1回戦を兼ねた第35回パインボウル2022が11月13日、仙台市のユアテックスタジアム仙台で行われ、北海道大（北海道学連代表）は7-17で東北大（東北学連代表）に敗れた。北海道大は第1Q2分、RB工藤輝一（4年、兵庫・白陵高）のTDランで先制したが、第2Qに東北大に逆転を許すと、その後の再三の好機を生かせなかった。東北大は、19日に名古屋・CSアセット港サッカー場で行われる2回戦で東海学連代表の中京大と対戦する。



3年ぶり25度目出場の北海道大は、立ち上がりにはエースが期待にこたえる走りを見せた。キックオフリターンに続く最初の攻撃シリーズで自陣25ヤードから攻撃開始。工藤の3回のランとWR清水英介（4年、東京・都立西高）のラン、QB茨木大輔（4年、兵庫・六甲学院高）からWR宮崎大地（3年、兵庫・星陵高）へのパスなどで敵陣3ヤードまでボールを進めると、最後は工藤が右オフタックル付近をエンドゾーンへ走り込んだ。トライフォアポイントのキックも成功し7-0と先制した。

しかし、第1Q9分に東北大にFGを決められて7-3、第2Qには2本のTDを許して7-17と逆転された。北海道大も反撃するが、東北大守備の反則で得た敵陣7ヤードからの攻撃もFG失敗に終わるなど追加点を奪えず、東北大に逃げ切られた。試合後の表彰式がRB工藤とWR清水が敢闘賞に選ばれ



た。

北海道大の里見佑三監督は「QBがプレッシャーを受けて、攻撃が出なかった。工藤のTDで先制したが、その後は東北大に守備にアジャストされた」と攻守に東北大に力負けしたと分析。道リーグMVPに輝き、パインボウルでも活躍が期待されたRB工藤は「先制TDでイケると思ったが、後半は2人目のタックラーを振り切れず、試合の流れを持ってこれなかった」と残念がった。

【記録】

東北大	3	14	0	0 = 17
北海道大	7	0	0	0 = 7